

涌谷町



江戸時代、徳川家5代目将軍綱吉とくがわ つなよしの命令により、仙台藩主伊達綱村だて つなむら わくやは涌谷伊達家5代目当主宗元むねもとに日光東照宮にっこう とうしょうぐうの改修工事を任せました。3年かけて無事に改修工事を終えた宗元の労をねぎらうために、宗元夫人らが「お茶屋ちやや」と呼ばれる風雅な御殿ふうが ごてんを建築しました。



その後「お茶屋」は花見時に庶民にも開放され、人々は唄や踊りで夜を明かしたそうです。その時に唄われ踊ったのが「涌谷お茶屋節わくや ちややぶし」と言われています。

300年前より涌谷の祝い唄として唄い継がれてきた涌谷お茶屋節。昔は手拍子で唄っていたものを昭和48年に振り付けされたのが現在のお茶屋節の唄と踊りです。



今は月将館小学校げっしょうかんや涌谷中学校の総合学習の時間にも取り入れられ、町内で行われるイベントを中心に、地域から愛される郷土芸能として活躍の場を広げています。